平成30~32年度の取り組み(変更箇所の抜粋一覧)







1 中中 1 4 中陸級出

1. 安定し	た病院経営					
中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	30年度目標	31年度目標	32年度目標	その他(課題など)
収入の確 保	その他の収 入確保策	14.7 生 女化道体理製造点ル粉を描	管理料1: 400件 管理料2: 500件 管理料3: 250件	管理料1: 425件 管理料2: 600件 管理料3: 250件	管理料1: 450件 管理料2: 700件 管理料3: 250件	
支出の削減	薬品費の削 減		後発薬品比率: 数量ベース 86% 後発品目ベース(後発品発売の あるもの) 62%	後発薬品比率: 数量ベース 87% 後発品目ベース(後発品発売の あるもの) 63%	後発薬品比率: 数量ベース 88% 後発品目ベース(後発品発売の あるもの) 64%	
		同種同効薬の見直し	採用品目数1,200品目以下	採用品目数1,195品目以下	採用品目数1,190品目以下	
2. 安全で信頼される医療の提供(医療の質の向上)						

数値変更

30年度目標	31年度目標	32年度目標
<u>管理料</u> イ: <u>440件</u> <u>管理料口</u> : 500件 <u>管理料ハ</u> : 250件	<u>管理料イ: 450件</u> <u>管理料口: 600件</u> <u>管理料ハ: 250件</u>	<u>管理料イ: 460件</u> <u>管理料口</u> : 700件 <u>管理料ハ</u> : 250件
<u>数量ベース 90%</u>	後発薬品比率: <u>数量ベース 90%</u> 後発品目ベース(後発品発売のあるもの) 63%	後発薬品比率: <u>数量ベース 90%</u> 後発品目ベース(後発品発売のあるもの) 64%
採用品目数1,200品目以下	採用品目数 <u>1,200品目</u> 以下	採用品目数 <u>1,200品目</u> 以下

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	30年度目標	31年度目標	32年度目標	その他(課題など)	
\sim 1 \square		平成30年度診療報酬改定に伴い 新評価基準での基準越え患者割合 をクリア、維持する 平成32年度診療報酬改定に迅速 に対応するH/EFファイルとの突合 により、医事コスト漏れを防止する DPCデータと看護必要度データをも とに入院患者データ・業務量を可視 化し、病床再編、人員配置等に活 用する	評価基準をクリアし、7対1看護配 置を維持する	評価基準をクリアし、7対1看護配置を維持する	評価基準をクリアし、7対1看護配置を維持する		変更
施設・設 備及び医 療機器等 の計画的	システムの 計画的な更 新	計画的なシステムの更新	薬剤支援システム				追加•削除
患者サー	ボランティ アの活用	ボランティアの活動内容および活動 時間の拡大	ボランティア数 16人	ボランティア数 18人	ボランティア数 20人		数値変更
良質な チーム医 療	良質な人材 の確保	初期臨床研修医からの確保、専攻 医(専修医)の育成、大学との提携	緩和ケア医1名、放射線診断医1名、脳神経内科医1名、精神科医1名、麻酔医・救急医・集中治療 医2名、その他診療科医師を確保	放射線診断医1名、麻酔医・救急 医・集中治療医1名、その他診療 科医師を確保	麻酔医・救急医・集中治療医1 名、その他診療科医師を確保		追加•削除
	働きやすい 職場	職員満足度の向上及び離職率低 下	職員満足度 満足、ほぼ満足 80% 看護職離職率 全体9%、新人7%台 年次休暇消化率 前年度より10%	職員満足度 満足、ほぼ満足 80% 看護職離職率 全体9%、新人 7%台 年次休暇消化率 前年度より	職員満足度 満足、ほぼ満足 80% 看護職離職率 全体9%、新人 7%台 年次休暇消化率 前年度より		変更

超過勤務減少10%減

超過勤務減少 10%減

前年度より

32年度目標

- 臨床検査技師 3名

• 臨床工学技師 1名

連、創傷関連、呼吸器関連、循 環器関連)

認定看護師1名

新たな認定資格の取得

現在の認定資格の維持

• 放射線技師

• 管理栄養士

前年度より

31年度目標

|特定行為研修に1名以上(感染関|特定行為研修に2名以上(感染関|特定行為研修に3名以上(感染関

• 臨床検査技師 3名

• 臨床工学技師 1名



	30年度目標	31年度目標	32年度目標
	<u>急性期一般入院料1の</u> 基準をクリアしている	<u>急性期一般入院料1の</u> 基準をクリアしている	<u>急性期一般入院料1の</u> 基準をクリアしている
	薬剤支援システム		
>	ボランティア数 <u>20人</u>	ボランティア数 <u>20人</u>	ボランティア数 <u>20人</u>
	緩和ケア医1名、放射線診断医1名、放射線治療医1名、腎臓内科医1名、脳神経内科医1名、精神科医1名、麻酔医・救急医・集中治療医2名、その他診療科医師を確保	放射線診断医1名、麻酔医・救急医・集中治療 医1名、その他診療科医師を確保	麻酔医・救急医・集中治療医1名、その他診療 科医師を確保
	職員満足度 満足、ほぼ満足80% 看護職離職率 全体9%、新人7%台	職員満足度 満足、ほぼ満足80% 看護職離職率 全体9%、新人7%台	職員満足度 満足、ほぼ満足80% 看護職離職率 全体9%、新人7%台

年次休暇消化日数 前年度より10%増

前年度より10%減

超過勤務減少

古中央はまでの後半の大中

4. 教育・研修等の充実

教育・研 看護師の専

修等の充門性の向上

小項目

メディカル

スタッフの

専門性の向

中期経営計画上で実施するとされていること

認定資格等の取得

資格認定等の取得

3.高度急性期病院の機能の充実						
中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	30年度目標	31年度目標	32年度目標	その他(課題など)
	断らない体 制の強化	救急患者の受け入れ強化	救急車の受け入れ台数 4,000 台	救急車の受け入れ台数 4,250 台	救急車の受け入れ台数 4,500 台	
	三次救急患 者の受け入 れ増	三次救急患者数の増	1,225人	1,250人	1,275人	
地療連点がり		将来的に指定要件が厳格化される	キャンサーボード症例検討率 17% 「いろんなつらさの問診票」の件 数:前年度の20%増 緩和ケア講習受講率: がん診療医 90% 後期研修終了時 100% 緩和ケアリンクナースの配置 8部 署 ガイドライン準拠の設備導入(安全キャビネット)	19% 「いろんなつらさの問診票」の件 数:前年度の10%増 緩和講習受講率: がん診療医 90%	キャンサーボード症例検討率 20% 「いろんなつらさの問診票」の件 数:前年度の10%増 緩和講習受講率: がん診療医90% 後期研修終了時100% 緩和ケアリンクナースの配置 必 要全部署	
地域医療 支援病院 の強化	後方連携の 強化	退院支援の充実	退院支援加算1 5,700件 介護支援等連携指導料 400件 退院時共同指導料 120件		退院支援加算1 5,700件 介護支援等連携指導料 400件 退院時共同指導料 120件	

連、創傷関連、呼吸器関連、循 環器関連) 環器関連) 環器関連)

認定看護師1名

新たな認定資格の取得

現在の認定資格の維持

• 放射線技師

• 管理栄養士

30年度目標

- 臨床検査技師 3名

• 臨床工学技師 1名

認定看護師1名

新たな認定資格の取得

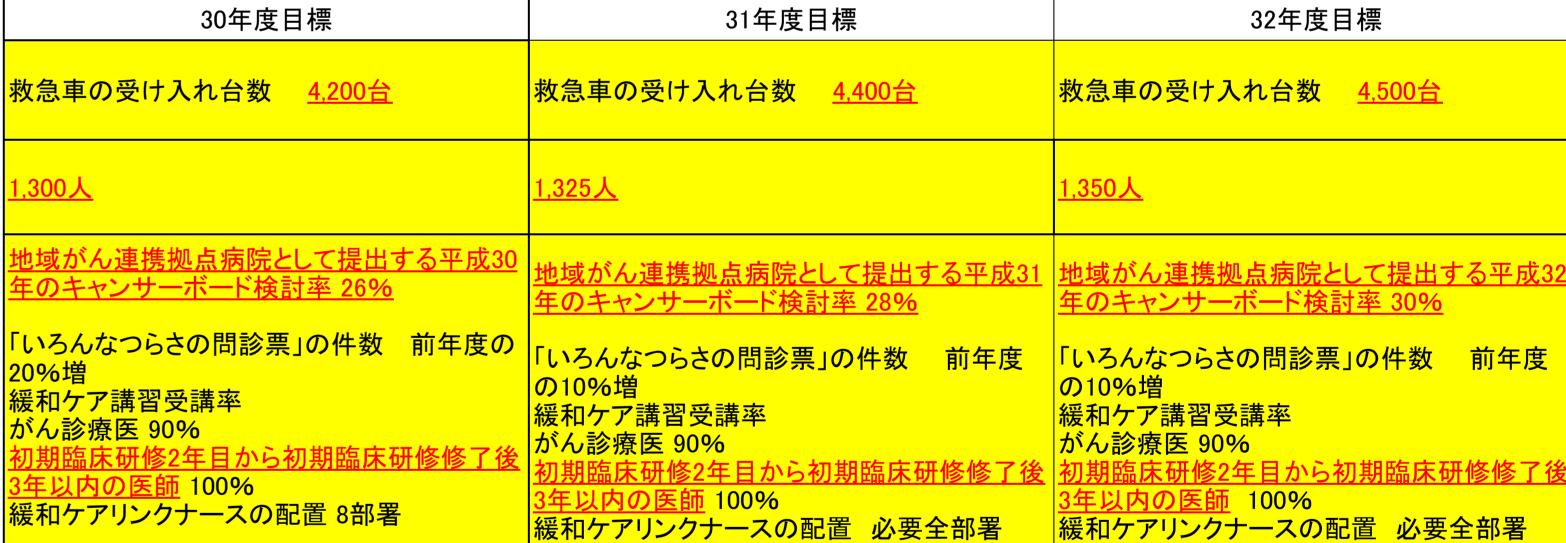
現在の認定資格の維持 ・ 管理栄養士

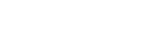
• 放射線技師

超過勤務減少 10%減









変更







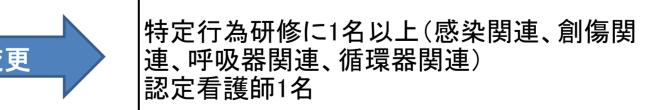


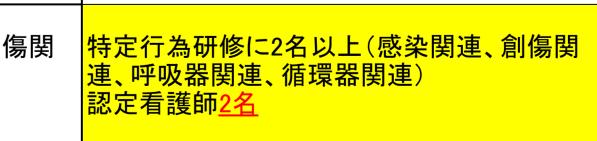
その他(課題など)









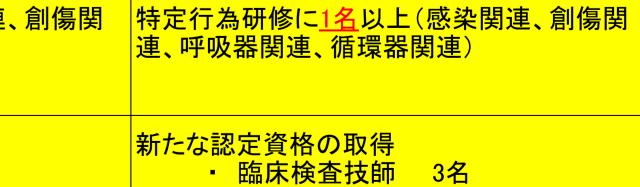


• 臨床検査技師 3名

31年度目標

退院時共同指導料2_130件

介護支援等連携指導料 500件



32年度目標

介護支援等連携指導料 5000

退院時共同指導料2 130件

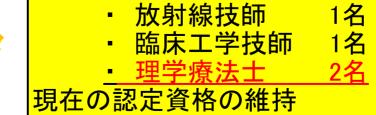
超過勤務減少 前年度より10%減











• 管理栄養士

新たな認定資格の取得

• 臨床検査技師 3名

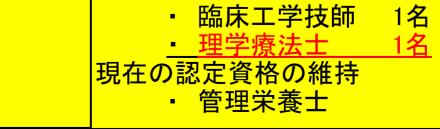
超過勤務減少 前年度より10%減

ガイドライン準拠の設備導入(安全キャビネッ

30年度目標

<u> 退院支援加算1 5,800件</u>

介護支援等連携指導料 500



新たな認定資格の取得

• 放射線技師

